

■千葉常胤 武将。60過ぎて源氏一斉蜂起に呼応、頼朝から信頼されて御家人筆頭となり、頼朝没時の幕府動揺も防ぐ。

ちばつねたね

・ ・ ・ ・ ・ 1118＝ 生。父は下総権介平常重、母は常陸の豪族平政口(幹)の娘。

・ ・ ・ ・ ・ 1127＝ 9歳：

鳥羽院政始・ 1129＝11歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1135＝17歳：父から所領の一部(千葉荘検非違所、相馬御口下司職のほか立花郷)を受け継ぎ、  
・ ・ ・ ・ ・ 1136＝18歳： 平安末期から千葉亥ノ鼻台の館に住む。

崇徳天皇讓位1141＝23歳：この頃、結婚した。

・ ・ ・ ・ ・ 1145＝27歳：

為朝鎮西乱行1154＝36歳：

保元の乱・ ・ 1156＝38歳：\_保元の乱に源義朝に属し、

平治の乱・ ・ 1159＝41歳：

\_以後、関東での地歩を固めるうち、

・ ・ ・ ・ ・ 1163＝45歳：

清盛太政大臣1167＝49歳：

平氏政権が樹立して恐怖政治を敷いて専横を極めたことから、

・ ・ ・ ・ ・ 1172＝54歳：

鹿ヶ谷事件・ 1177＝59歳：

源氏一斉蜂起1180＝62歳：\*石橋山の合戦で敗れた源頼朝が房総に逃れるとこれに応じ、富士川の合戦で平維盛の軍を破った頼朝が上洛しようとする、東国経営の重要性を説いてその後の幕府の創立に貢献。以後御家人の筆頭として重視され、行賞などもつねに最初に与えられた。素朴で誠実な人柄で頼朝の信頼は厚く、政子が頼家を懐妊した際には妻が腹帯を整え、七夜の儀は妻子とともにこれを主催、実朝誕生の際にも四夜の儀を沙汰している。

平清盛没・ ・ 1181＝63歳：\*東国政権成立の翌年、元日に常胤が梔飯を献じたが、これは幕府年頭梔飯の初例となった。

・ ・ ・ ・ ・ 1184＝66歳：\_木曾義仲と平家追討の軍に参加、源範頼を助けて西海の統治に努め、  
\_義経離反後の京都の治安維持に派遣され、

平氏滅亡・ ・ 1185＝67歳：

奥州藤原滅亡1189＝71歳：\*奥州征討には東海道軍の大將軍に任じられた。

源頼朝上洛・ 1190＝72歳：

\_こうした功で、下総国守護となり平安期に分立していた一族諸流を統一、岩城郡好島荘預所職のほか陸奥の海道諸郡、美濃国蜂屋荘、肥前国小城郡晴気保、薩摩国島津荘寄郡など多くの地頭職を与えられた。

鎌倉幕府始・ 1192＝74歳：\_征夷大將軍に任じられた頼朝が公卿の風をまねて政所下文に改めた際、常胤はこれを最初に与えられたが、頼朝直判の下文を要請した。

源頼朝没・ ・ 1199＝81歳：\_頼朝の死去後、梶原景時弾劾の連署に参加。

梶原景時征討1200＝82歳：\_梔飯を務めたが、

・ ・ ・ ・ ・ 1201＝83歳：\_没した。

吉川弘文館人物叢書、「この人どんな人」、「人物日本歴史館」、平凡社百科事典、